

# 4月17日 陽だまりの中のああでもないこうでもないの現地検討会

協働まちづくり助成金が申請額に対して大幅に減額された令和4年のテラス事業計画をどうするか？

基本的には申請通りの計画を実行することとして、この際都市緑化機構に800万円を申請しようかという  
ことで、今後のテラス事業の根幹にかかわることなので、現地現物で検討会を行いました。

4月17日午後から、陽だまりのかな、12名+2名で、ああでもないこうでもない、東北大学から頂いた間  
知石の活用をどうするか中心に、侃々諤々、喧々囂々、談論風発、齒に衣着せぬ議論を行いました(´^A

令和4年の都市緑化機構への申請は  
間知石の活用を中心に吟味

- ①ラベンダー畑の擁壁
  - ②雨庭の囲い
  - ③アクセル路の縁石
  - ④間知石のベンチ・椅子
- 以上が間知石活用

その他に、テラスの縁を流れている  
水路の両側に自然石等を用いて綺麗な  
水路を作り、リュウキンカ等の水生  
植物を植える環境にする。

などなど、これが出来れば万々歳です  
が、そう問屋が卸すかどうか？

えう、ご期待！



日本のセイヨウタンポポは、すべて3倍体であるため、次世代の更新は、受粉  
をせずに、もともとの個体の遺伝子と全く同じ種子を生産することによって行  
われます。このため、たった一個体あれば、次世代を作ることができます。し  
かも、全花(タンポポは、舌状花と呼ばれる小さな花の集まり)のうち80%が種  
子を作ることができます。一方、在来の二倍体のタンポポは、他個体の花粉  
を受粉しなければ種子を作ることにはないため、種子生産には、必ず他の個体  
が近くにいることが必要です。しかも、遺伝的に近い個体の花粉を受け取っ  
ても、正常な種子を作りにくいようです。**在来のタンポポは、個体群が孤立し  
た場合、外来のタンポポに比べ圧倒的に不利になります。**

**テラスに絶滅危惧種の日本タン  
ポポがあります。皆さん、大事に  
見守りましょう！**

